

12月に入り、気温が更に下がっています。風が冷たくて凍えてしまったり、日によっては路面が凍結して危険であったりするので、自転車に乗れなくなりました。そのため、バスの通っている区間であれば、大した距離でなくてもバスを利用するようになりました。また、ニット帽、フードや耳当ての恩恵をこれまで以上に感じています。外出するときの必需品になっているといえます。

今月は講義内容、Graduation Ceremony、冬季休暇について報告します。

講義について

- Final Exam

今月上旬、履修しているすべての科目でFinal Examがありました。履修している全てのCS科目の試験時間は3時間で、問題数も多くて非常に大変でした。ただ、優秀そうな学生は、1時間~1時間半ほどで早々と試験を終えて退出していくので驚かされます。内容的には、8割~9割が講義や課題で扱った内容で、残りがチャレンジ問題といった印象を受けました。

テスト期間になると、UIUCの学生はいつも以上に熱心に勉強します。そのため、寮の勉強スペース、図書館やカフェ等はいつも以上に賑わいます。アメリカの大学は寮生活を強いる所が多いというのがありますが、学生同士で刺激し合いながら一緒に勉強できる環境が充実していることは非常に良いことだと思います。この期間、私はGrainger Engineering Libraryという工学部の図書館によく足を運んでいたのですが、深夜に行くと非常に混み合っていることが多く、席を確保するのに苦労しました。友人の中には、「これから4日間はGraingerで寝泊まりするので、寮に帰るのはシャワーを浴びるためだけだ。」というような人もいました。全体的に、アメリカの学生は日本の学生と比較すると、「良い成績を取りたい」、「知識や技術を習得したい」という思いが強いように感じます。



Grainger Engineering Library



館内の様子

- 秋学期の講義を終えて

早いもので渡米してから半年が過ぎました。この秋学期を通して、リスニング力はだいぶ上達したといえます。しかし、ネイティブの話すスピードだと、だいたい何を言っているのかわかるという感じで、単語の一つ一つを正確に拾えているレベルではありません。語彙力に関しては、コンピュータの分野では専門領域の単語が日本語と対応していることが多いものの、それでもやや足りていない部分があります。また、スピーキング力も実用的なレベルではありません。現在の状態だと、ある程度のコミュニケーションを取ることは出来ても、講義の中で新しい知識を獲得することが困難だと感じています。

その一方で、予習や課題をしているときは自分のペースで取り組めたので、こなせた範囲に関しては確実に理解を深めることが出来たといえます。しかし、当たり前ではありますが、英語なので

日本語と比べると一つの課題を終わらすためには多くの時間を要します。また、課題の量は日本一課題の多いと言われている工大よりも更に多く、質も高いものばかりだったので、一つ一つを確実にこなすことができませんでした。それ以外の要因としては、勉強する時間を捻出するという点においては、自分の甘さに負けてしまった面があります。

今学期を全体的に振り返ると、語学力を向上させるのか、専門領域に対する理解を深めるのか、どっち付かずの状態です。秋学期が終了してしまったことを否めません。

このような状況ではありますが、来学期からはCSの基礎科目ではなく、応用科目を中心に履修する予定です。非常に険しい道ですが、せっかく留学できたからにはUIUCのハイレベルの授業に触れておきたいという想いがあるからです。ベースとなる英語力の向上、専門科目に対する理解を深めることを目標として挑戦してみます。チャンスを活かせる様に頑張ります。

Graduation Ceremony

Final Examが終わって数日後に Graduation Ceremony がありました。学生毎に単位取得のプロセスの異なる UIUC では年に2回の卒業式があります。また、学生数も非常に多いので、卒業式も学部毎に会場や時間帯を分けて行われます。

私は、International Studies を学んでいる日本人留学生の友人から、Liberal Arts and Sciences の卒業式のチケットを貰うことができたので参加することができました。少し話が脱線しますが、彼は留学中に非常にお世話になった友人の一人です。留學生活の相談に乗ってもらったり、友人を紹介してもらったり、一緒に旅行したり、色々な思い出があります。卒業式の後、帰国する彼を見送ったのですが、頼りにしていた人を失うような感じで、非常に寂しく、これからのことを考えると気が引き締まる思いでした。

卒業式の様子としては、日本のものとは全く違った雰囲気でした。卒業を迎える学生たちは、学士、修士、博士ごとに別々のガウンを着ていて、凛々しく見えました。なによりも、厳しい卒業条件を乗り越えて来た達成感からか、皆が自信に満ちあふれていたように思えます。また、証書が授与されるときには各自が名前を呼ばれるのですが、そのときに家族や友人が名前を呼んで盛り上げたり、指笛を鳴らしたり、とにかく派手だった印象を受けました。



会場の様子 (Krannert Center)



Graduation Ceremony の様子

冬季休業期間

UIUCでは、秋学期が終わると次の春学期が始まるまでに、約一ヶ月の冬季休業期間に入ります。また、この冬季休業や次の夏期休業期間に入ると、一部の寮を除いて大半の寮が閉まってしまいます。そのため、大半の学生たちは学期が終わる毎にアパートに引っ越ししたり、荷物をまとめて帰省したりする必要があります。このようなことは、日本の学生生活では滅多にないことなので、知ったときは非常に驚きました。幸いにも、私の住んでいた **Sherman Hall** では追加の費用を払えば、冬季休業期間も滞在することが可能で、引越しの必要がなくて助かりました。以下に、冬季休業中に過ごしたことをまとめます。

- 学内のジム

学内にはARC (Activities and Recreation Center) や、CRCE(Campus Recreation Center East) といった全米でも最大規模の大学ジムがあります。初めて ARC に行ったときのことは今でも鮮明に覚えています。最新の TV モニタ付きランニングマシンが数百台あったり、バスケットやバレーのコートがいくつもあったり、屋内と屋外の両方に大きなプールがあったりするのを見て、スケールの大きさに驚かされました。

冬季休業中は、大半の学生がキャンパスからいなくなってしまうため、ARC は閉まってしまい利用できませんでしたが、ルームメイトと一緒に CRCE に週 3 回のペースで通っていました。彼はインドから渡米してきた学生で、**Electrical and Computer Engineering** を専攻しています。この秋学期に学士を修了し、来学期からは UIUC の修士課程に進みます。秋学期は、互いに忙しくてあまり時間を作ることが出来なかったのですが、今月は自国の文化に関すること、専門分野に関することなど、色々な話をして仲を深めることが出来ました。



ランニングマシン (ARC)

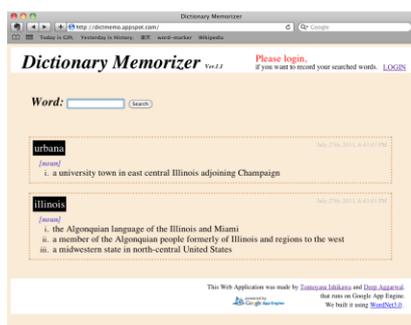


バスケットボールのコート (ARC)

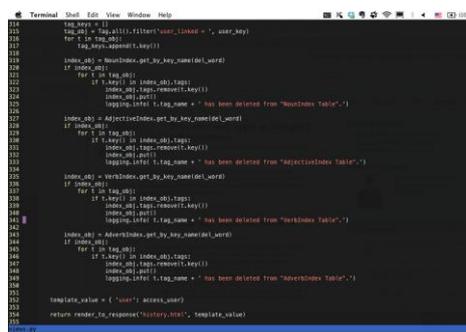
- Web Application の開発

ルームメイトと専門分野の話題で盛り上がり、この冬季休暇を使って Google App Engine (with Django) を用いた Web アプリケーション「Dictionary Memorizer」を共同で開発することになりました。使用言語は Python、JavaScript を用いました。この Web アプリケーションは英語学習の効率化を促すことを目的としています。Web 上で読み物をしているときは、知らない言語が出てきてもその場でのみわかれば良いというケースが多く、言葉の意味を覚えようという思考に入りにくいことが多々あります。そこで、サービス上で検索した言葉を反復して学習できる機能を実装したいと考えました。

具体的には、「English-to-English」による辞書検索「WordNet のデータを DB に登録」、「Google アカウントを用いたユーザ管理」、「検索ワードの履歴表示」、「Tag を用いた検索ワードのカテゴリ分け」が挙げられます。



Dictionary Memorizer



作成したプログラム

-旅行

クリスマスから年明けにかけて、Chicago 市内を観光し、スノーボードをするために Wisconsin の Wausau に行ってきました。

クリスマスに Chicago を観光したときは、ほぼ全てのレストラン、美術館、ショッピングモール全てが閉まって、悲惨な目に遭いました。アメリカのクリスマスは、日本のクリスマスと異なり、家族と家で過ごすとは聞いていたのですが、まさかここまでとは思っていませんでした。Chicago 市内を歩いていても、人をほとんど見かけませんでした。完全にリサーチ不足です。そのため、一緒に観光したルームメイトと話をしながらひたすら街を歩きました。この日はミシガン湖が凍る程の寒さだったのですが、ある意味でいい思い出です。食事もしカゴ・スタイルのピザや、ホットドッグを食べようと考えていたのですが、お店は閉まっていたので、結局この日は昼・夜共にマクドナルドでした。

Wausau へは、レンタカーを借りて6人で行って来ました。メンバーの構成としては、アメリカ1人、インド2人、タイ1人、日本2人という組み合わせです。価値観の違いや国ごとの等、色々と考えさせられる面もありましたが、全体的に非常に楽しい旅行でした。



Macy's 前 (Chicago)



凍ったミシガン湖



Wausau のスキー場



レストランでの食事 (Wisconsin Dells)

以上で、12月分の報告とさせていただきます。